

# 球磨病院が担う役割

平成30年11月 球磨病院

# 1.現状と課題

## 【当施設の現状と課題】

- 当病院の理念 「愛する人を安心して任せられる病院の創造」
- 基本方針
  - 1.患者様中心の医療の提供
  - 2.患者様へのサービスの向上
  - 3.救急医療の充実、医療水準の維持、向上
  - 4.予防医療の展開
  - 5.医療安全の確保
  - 6.地域連携の強化
  - 7.経営の健全化
- 届出入院基本料

入院基本料	病床数	平均在院日数
急性期一般入院料5	34床	17日
療養病棟入院料1	45床	
地域包括ケア病棟入院料2	45床	
障害者施設等入院料13:1	30床	
合計	154床	

- 職員数(医師:10名、看護師:86名、その他専門職:36名、事務職員等:33名)

## ● 当院の特徴①

当院は、二次救急指定病院として救急患者の受け入れに取り組んでいます。また、脳神経外科、整形外科や糖尿病の専門医が常勤し、広範囲に亘る治療を提供しています。糖尿病に関しましては当院との病病・診連携を通して糖尿病患者のより良い管理を行っています。さらに糖尿病専門医とリハビリスタッフが中心となり、人吉球磨地域のコメディカルを対象にした「熊本県糖尿病療養指導士」のための年4回の研修及び認定試験を行い、合格したコメディカルスタッフが各医療機関で患者の糖尿病管理上、重要な生活改善などの専門的な助言、指導を的確に推進することで、人吉球磨地域の糖尿病予防・治療に広く深く寄与出来ると考えています。

## ●当院の特徴②

整形外科においては脊髄脊椎外科学会の名誉指導医が治療に当たっております。また人吉球磨地域で初めて組織的にパワーリハビリテーション機器を導入し、開始しました。パワーリハビリテーションとは上肢、下肢、体幹を鍛える各種マシンを使用して寝たきりや下肢筋力低下等により日常生活に障害がある方に対し、寝たきりの改善や筋力を向上させることで再び自立した生活を目指すためのリハビリです。このパワーリハを推進している整形外科医師は、「パワーリハビリテーション研修会熊本県支部」の支部長を務めている指導者的整形外科医であり、パワーリハの専門家でもあります。

### ●当院の特徴③

地域包括ケア病棟(45床)ではリハビリ治療を行い、患者様の早期の在宅復帰を促進しています。障害者施設等病棟(30床)では重度障害患者様への治療・看護に力を入れています。新たに「がん患者リハビリテーション」の基準を取得し、医師・リハビリスタッフ・看護師が患者様の在宅復帰を目指しています。また、病気や障害のある患者様を自宅で診るための訪問診療を定期的に行い、治療薬の処方や療養時の相談・指導など病状悪化の防止に努めています。

● 当院の担う政策医療 「二次救急」

救急車の受け入れ回数の増加を図り、救急患者への迅速な診察、治療を目指していきます。

● 他機関との連携

がん治療や脳卒中などで人吉医療センター、熊本大学医学部附属病院、八代や熊本市の高度急性期病院などと連携しています。

● 地域社会への啓蒙活動

医療従事者を目指す中学生・高校生の病棟見学等の受け入れを行っています。

## 2. 今後の方針①

### 【地域において今後担うべき役割】

- 地域医療においては、今後、医療機関間の役割分担や介護等各種施設との協力がこれまで以上に必要だと考えます。各医療機関や介護施設等とより緊密な連携を図り、適切で着実な医療サービスの提供を行っていきます。
- 健診センターでの健康診断を通して、病気の予防・早期発見・生活改善の指導など人吉球磨圏内の健康管理に今後より一層携わっていきます。
- また、蘇春堂グループとして、透析治療を行っている人吉中央温泉病院や精神科デイケア・認知症病棟を有する光生病院、球磨村診療所と連携し、当院が中心となって多角的な診療を行っていきます。

## 2. 今後の方針②

### 【地域において今後担うべき役割】

- これから2025年問題で75歳以上の高齢者が増えるということを考えますと、心臓や血管の疾患で受診される患者様も増加すると予想され、循環器科の充実が不可欠だと考えております。
- 現在、発達障害の子どもを中心に小児リハ治療を行っており、これからも地域に少ない小児リハ治療に力点を置きたいと考えています。
- また、訪問リハ診療も実施しており、来院が困難な患者様などの手厚い治療を通して症状悪化の予防に努めていきます。患者様の元へ出向く積極的な治療は幅広く地域医療へ貢献していけるものと考えております。

# 3.具体的な計画

## (1)今後提供する医療機能に関する事項

### 【①4機能ごとの病床のあり方 その1】

病床機能	2017年(平成29年度)	2023年(35年度)	2025年(37年度)
急性期	40床 (内6床は保険なし)	40床 (内6床は保険なし)	40床 (内6床は保険なし)
回復期	45床	45床	45床
慢性期	75床	75床	75床
合計	154床	154床	154床

### 【①4機能ごとの病床のあり方 その2】

急性期病棟は40床で、救急患者の受入れの増加を図っていきます。

回復期病棟は地域包括ケア病棟45床で、総合的な治療を行うことで、早期の在宅復帰・社会復帰を目指しています。60日以内での退院を確実にを行い、入退院の回転率を上げることで多くの患者様の治療に当たっていきます。障害者施設等病棟30床は重度意識障害や難病患者の治療に当たっています。人吉球磨地域で唯一、球磨病院のみが有している病棟であり、難病患者の受入れ先として重要だと考えます。

## 【②診療科の見直し】

	現時点(2018年2月時点)	2025年	理由・方策
維持	内科・外科・小児科 小児外科・整形外科 消化器外科・泌尿器科 脳神経外科・耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科・検査科・健診センター	内科・外科・小児科 小児外科・整形外科 消化器外科・泌尿器科 脳神経外科・耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科・検査科・健診センター	二次救急医療機関として基本的な診療科目を維持し、適切・速やかな診療に努めるとともに早期回復につなげていきます。
新設	なし	循環器科(予定)	
廃止	なし	なし	
変更・統合	なし	なし	

# 3.具体的な計画

## (2) 数値目標

	現時点(2018年5月時点)	2025年
①病床稼働率	97.6%	98%以上
②紹介率	53.0%	
③逆紹介率	21.5%	

### 3.具体的な計画

#### (3) 数値目標の達成に向けた取り組みと課題

幅広く広報活動を行い、人吉・球磨地域の医療機関や各種施設からの紹介を増やすとともに、逆紹介率を高めることで双方の信頼度を上げていきます。蘇春堂グループ内の病院・診療所と連携を密にすることで、幅広いニーズに応えられるよう努め、稼働率アップにつなげていきます。健診の充実により地域住民の疾病予防や早期発見、治療に努めていきます。

また糖尿病専門医による積極的な啓発活動を通じて、糖尿病患者様に正しい知識を身に着けて頂き、生活改善を促すことで悪化防止につなげるよう努力していきます。

リハビリではパワーリハに注力し、専門の医師・リハビリスタッフを中心に患者様の早期回復を図っていきます。小児リハでは専用の部屋で理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が各専門を生かし、診療に携わっています。地域における小児リハのニーズは高く、重要であり、今まで以上に充実を図ります。